



学校教育目標

知・徳・体の調和のとれた人間性、社会性が豊かな子どもの育成

吉田小通信

北九州市立吉田小学校
校長 上満 佳子

吉田小の4つのこだわり

- 自分からあいさつ ○ 時間を守る ○ 全員でそうじ ○ くつばこの整理

令和7年4月23日 発行 NO.2

本好きの子どもに！子ども読書の日の取組



今年度、「新北九州市子ども読書プラン」がスタートして5年目になります。子ども達が、どうしたら読書好きになるのか、多くの大人たちが知恵を出し合い、このプランが出来上がっています。4月23日（水）は、子ども読書の日です。本校では、22日火曜日に、読書に親しむ取組を行っていますので、是非お子様に話を聞いてください。1年生は、1時間目に担任の先生から、2時間目に6年生のお兄ちゃん

お姉ちゃんから絵本の読み聞かせをしてもらいました。6年生の読み方がとても上手なので、お話の世界に浸っていました。6年生は、どんな本を読もうか1年生のことを思って本を選んでいたことが伝わってきました。他の学年も、本の世界を集中して楽しんでいました。2年生と3年生は、読み聞かせ「パタポンさん」から本を読んでもらいました。2時間目の読書活動としては、発達段階に応じて、しおりづくりやお気に入りの本の紹介を絵や文で表現していました。

この日ははじめに、5月12日までは「こどもの読書週間」です。「あいことばは ヒ・ラ・ケ・ホ・ン！」というキャッチコピーのもと、子どもの読書週間になっています。読書の楽しみを感じ笑顔が増えると嬉しいです。

さて、北九州市では、毎月23日を「ノーテレビ・ノーゲーム・読書の日」と決めて、読書活動の推進を行っています。この日だけは、テレビ・ビデオを見ずに、また、ゲームをせずに読書をしましょう、という日です。読書には、多くの効果が期待されていますが、わくわくどきどきと心を動かし、描かれている事柄や人物の気持ちを想像することは、その中でも最も大きな効果だと考えます。もちろん言葉の力をつけること、他人の考えに触れること、読解力・表現力・思考力を高めるなどの効果もあります。日々の教育活動の中で、子ども達に、読書の楽しさや喜びを伝えていきたいと思っています。

本好きな子どもの育成には、成長に大きな影響力をもっている保護者の方のご協力が、欠かせません。家族と一緒に読む「内読」は、読書を習慣づけることにつながり、お勧めです。是非実践してみてください。



はじめての給食～1年生～

1年生が入学してもうすぐ2週間となり、本格的に学校が動き出しました。1年生の給食が、4月21日（月）から始まりました。学校給食は、子ども達が食についての知識を深め、健康な食生活を送るための「生きた教材」です。栄養教諭の日高先生が、1年生に、当番活動を行うにあたっての身支度の仕方、ごはんやパン、おかず、牛乳を置く場所、これからの給食の約束事を、担任の先生と一緒に指導しました。1年生は初めての給食となったミートスパゲッティとツナサラダをおいしそうに食べていました。大きなあれ1年生！

